

地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」が発刊されることになりました。

本紙は、白石東まちづくりセンターを編集局に、そして地域の方々が記者になって地区内取材し、年4回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！



今年も

白石亭で 秋を楽しむ会

いろんな秋を楽しみました

取材担当：五十嵐

10月29日(土)、今年で2回目になる『白石亭』の秋を楽しむ会が開かれました。広い日本庭園に囲まれた大きな和風建物である白石亭は、地域の方が自由に利用できる札幌市の施設で、今年からは地元の大谷地第一町内会の管理になっています。

この白石亭を多くの方に知ってもらうため、紅葉の時期に今回も楽しいイベントが開催され、多くの子どもたちの声がこだましました。



生ゴミ堆肥の説明に思わず「なるほどね〜」

落ち葉が肥料になりました【写真左】

最初に行ったのは、昨年落ち葉を集めて作った堆肥を掘り出すこと。その後、今回も枯れ葉を集めて踏み固め、落ち葉の堆肥を仕込みました。指導してくれたのは、循環ネットワーク北海道の土橋さんなど3人の方々。生ゴミによる堆肥作りや、地球にやさしい生活をするための大切さも話していただきました。



たき火だ、たき火だ、落ち葉たき〜♪

これぞ秋の定番！「たき火」で「焼きイモ」【写真左】

次に、落ち葉を集めて燃やして作る焼きイモです。火が燃え上がってオキになるころを見計らって次の落ち葉や枯れ枝を放り込みます。「落ち葉たき」初体験の男の子たちは、熱さをものともせず夢中です。用意した15キロのサツマイモ(約80本)は、50分ほどで黄金色に焼きあがりました。

芸術の秋、ネイチャー・クラフト【写真右】

今回、新たな企画として登場したのがネイチャー・クラフト教室。木の板や枯れ枝、ドングリ・マツボックリなど木の実などを使って、表札や鳥の置物、立体的な飾りなど、思い思いの作品を作っていきます。

指導していただいたのは、ビーズ・手工芸作家の佐藤真弓さん。会場となった2階の和室は30人以上の子どもたちの熱気が充満していました。

完成した後は、皆の作品を並べての臨時展覧会。参加者の一人は、「自然の材料でこんなに色々なものが作れるなんて知らなかった。とっても面白い。と興奮気味。ひとりで6つも作品を作った子もいたようです。



「アッ、ひらめいた！」今日はみんな芸術家

最後はやっぱり食欲の秋！

最後は、お母さん方が作ってくれた豚汁と、できたての焼きイモをほおばって、行く秋を惜しみました。



愛きょうたっぷりの作品が並びました



白石亭：白石区本通17丁目北

こもれびの散歩道

取材担当：杉浦

大谷地緑地

をご存知ですか？



長〜い並木ね！

トラックや大きな車が荷物を満載して行き交う流通センター内で、立派な並木を見つけました。

太さ 20 cm 位、高さ 10～18m の大きな赤松が、5m 間隔に 100 本ほど天に向かってのび、枝をひろげ、両側には芝生の緑地帯があります。(マツボックリもたくさん拾えます)

並木の間は小道になっていて、手を広げて歩いてみると大らかな気持ちになり、ここだけ空気が違うように感じました。

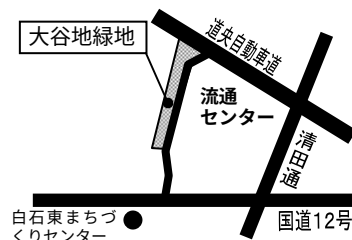


開 園 昭和 53 年 1 月
面 積 11,184 m²
小 道 長さ 300m
並 木 アカマツ(99 本) シラカバ(29 本)
その他 地区の避難場所にも指定されています。

※白石区土木センターに確認しました。



☆場所：白石区流通センター1丁目



札幌東ドレスメーカー女学院

シリーズ：白石東歴史探訪

昔はリンゴ畑に囲まれていました

取材担当：横道

白石区本通 17 丁目の「下白石」停留所でバスを降りると、目の前に「渡辺果樹園」の広大な敷地内に、洋風の建物「札幌東ドレスメーカー女学院」があります。今回は、ここの渡辺浪子学院長にお話をうかがいました。

同学院の設立前、渡辺さんは札幌市内の洋裁学校で教師として指導していましたが、大谷地に洋裁学校がないことから、昭和 36 年、両親の勧めで果樹園の一角に、各種学校として服装学院を開校しました。当時、周囲には住宅が少なく、田畑や沢地などがほとんどで、大きく変わった同学院の建物は、近隣の人たちから物珍しく見られていました。

開校後は厚別や白石、札幌市内から多くの生徒が訪れ、遠方は長沼町や南幌町からも花嫁修業として、15 歳～30 歳の主に農家の女性が洋裁を学びに来ていました。



大きな机や洋裁ボディの置かれた教室

以来 40 年以上の歳月を経て、社会情勢の変化等により平成 15 年からは休校となっていますが、学院内の設備・教室はいつでも授業が再開できるよう万全の体制となっています。

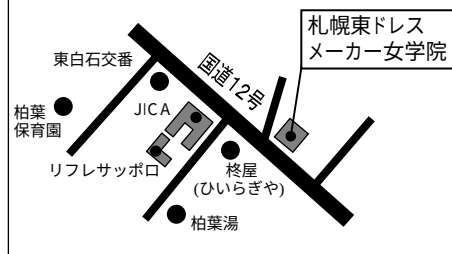


建設当時は、大きな洋館に周囲は驚きました



現在も門柱に残る「渡辺果樹園」の表札

☆場所：白石区本通 17 丁目北



趣味のコーナー

みんなのギャラリー



お店全部が作品。**柁屋** (ひいらぎや)

へえー！建物以外は
みんな手作りなんだ

まるで木の工房のようなお店「柁屋」さん。店内は手作りのテーブルやイス、壁掛け、照明器具などがセンス良く配置されています。また、中央にはなぜか大きなカヌーまで置かれています。これ全部ご主人の久保田さんの作品です。

昼間は奥さんが担当するコーヒーとランチのお店、夜はご主人が担当するお酒が飲める店になります。「ここは海外から来た JICA 研修員と、地元の人との交流の場にもなっています。」とのことでした。

久保田 清志さん
(55 歳)



作品紹介

☆場所 白石区本通 17 丁目南 (左下地図をご覧ください)

「働くことは大切だけど、その分一生懸命遊ばないとね！」と語る久保田さん。夜、仲間が店に集まるとすぐに遊びの作戦会議。キャンプ、カヌーなどの遊びはもちろん、町内会を巻き込んでお祭をしたり、JICA に行ってイベントを仕掛けたり。作品も遊びも大掛かりです。



店先にも作品がいっぱい



古いお寺の廃材で作ったテーブル



カヌーは 3 艇作ったそうです



カヌーを操る久保田さん(写真右)

まちかど発見日記

取材担当：杉浦



緑で覆われたの“謎の塔”を発見！(写真左)

閑静な住宅街の中に、ツタで覆われた高さ 10m はあろうかという塔を発見しました。

実はこれ、白石東地区で唯一の銭湯「柏葉湯」さんの煙突でした。そんな興味をキッカケに、今どきの銭湯事情も知りたくて取材をすることにしました。

この銭湯は昭和 34 年から、当時まだ風呂のない家や団地の人たちが集う地域の社交場として親しまれてきました。最近では、各家庭にも風呂が普及し、利用者は年々減る傾向にありましたが、地域のふれあいの場としての特徴を生かし、『ゆにーくサービス』という高齢者福祉の活動も行っていました。毎月 2 回、65 歳以上の方を招き、健康チェック、食事会、レクリエーションの開催、そして入浴までを一貫したサービスとして実施しています。

注：ゆにーくサービスは現在、希望者が多く新たな参加はお断りしている状況です。

たまには銭湯も
いいですねえ～

塔の正体は煙突



柏葉湯



ゆにーくサービスの様子

☆場所 白石区本通 17 丁目南
(左地図をご覧ください)

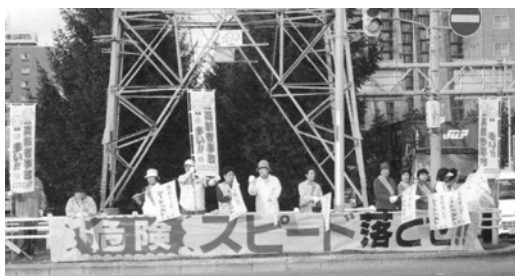
地域活動の情報

安全・安心のまちを願って

薄暮街頭啓発

を実施しています。

まだまだ情報が
あるんだね。



9月27日、南郷18丁目交差点での薄暮街頭啓発の様子

白石東地区では毎月、交通安全の早朝街頭啓発を行っています。これとは別に、日中・夕方の事故も多いことから、白石東地区交通安全母の会が中心になって、老人クラブのメンバーも協力し、毎月第3水曜日夜方、薄暮時間帯の啓発を行っています。

これは、今年度から新たに行われた取り組みで、母の会会長の中村竹子さんは「当地区では今年2件の死亡事故が発生しており、非常に残念。事故撲滅のために、地域でできることを皆で力を合わせて続けていきたい」とおっしゃっていました。

スポーツ情報

地区少年野球新人戦大会

結果発表！

取材担当：長井

白石東地区少年野球新人戦大会は、町内会連合会が分離独立前の昭和63年より行われている大会です。平成4年より白石東地区で実施され、今年で14回目になります。今年は4チームが参加して9月23日に開催されました。1回戦は1点を争う好ゲームでしたが、決勝戦は緊張の糸が切れたのか大差の結果になりました。

優勝は大谷地第一町内会チーム、準優勝は柏町内会チーム、第3位は白樺自治会チームでした。個人賞は、最優秀選手賞に大谷地第一の千田望君、優秀選手賞に柏の松木雄司君が選ばれ活躍が認められました。夢をめざす選手諸君に拍手を送ります。



試合は白石東公園で行われました

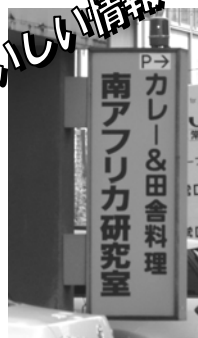
おいしい情報

えっ！

南アフリカ研究室？！



取材担当：武田



黄色い看板が目印です。
(写真は白黒ですが…)

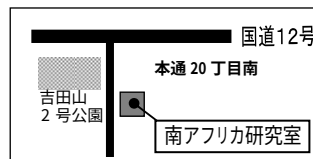
本通20丁目に「カレー＆田舎料理南アフリカ研究室」というユニークな看板が目印です。

今、流行のスーパカレーを10数年前から札幌で始めた大人のカレー専門店です。(定食もあります)

なお、南アフリカ研究室というのは屋号であって、実際に研究しているのは“おいしいカレー”です。

【おすすめメニュー】
アフリカカレー 1,100円
カシミアカレー(辛口) 790円
インドカレー 740円
※田舎料理は現在出していない

【営業時間】
午前11:00～午後10:30
日曜・祝日休み



☆場所 白石区本通20丁目南1-9 常口ビル1F TEL 865-7133

情報をお寄せ下さい！！

「近所におもしろいものがある」、「前から気になっていた施設がある」、「ユニークな活動をしている人を知っている」など、どんな話題でも結構です。皆さんからの地域の情報をお待ちしております。



取材スタッフ

武田祐次(町連)・横道実(社協)・杉浦風子(民児協)
五十嵐載子(育成)・長井和幸(体振)

お問い合わせ 「白石東まちづくり通信」編集局

〒003-0026

札幌市白石区本通18丁目南2-6

白石東まちづくりセンター内

TEL011-862-0813 FAX011-862-8694 (休館：土・日・祝日)

